

令和2年度 第2回倉敷科学センター協議会 議事録

【日 時】 令和3年3月4日（木） 18:30～20:30

【会 場】 科学センター実験実習室及びプラネタリウム

【出席委員】 尾崎委員，富岡委員，山田委員，箕口委員，中原委員，高木委員，岡本(由)委員，
岡本(美)委員

【欠席委員】 花田委員，河野委員

【事務局】 三谷参事，藤田館長，三島主幹，石井主任，西村主任

【傍聴者】 2名

1 開会

(1) 挨拶

【事務局】 ただいまから，倉敷科学センター協議会を開催いたします。

本日は，お忙しい中御出席いただきまして，ありがとうございます。新型コロナウイルス感染症対策の事もありますので，この時期に会議をすることが心苦しい面もありましたが，どうしても決めないといけないこともありますので，本日開催させていただきました。できる限り速やかに会議を進行して，御案内した予定よりも早く終了できればと考えています。

私は，全体の進行を務めます倉敷科学センター館長の藤田と申します。よろしくお願いたします。

まず，会議の成立について，確認させていただきます。倉敷科学センター条例施行規則第10条第6項の規定により「委員の半数以上の出席」を以って会議は成立しますが，現時点で委員数は10名となっており，そのうち8名の委員の方の出席をいただいておりますので会議は成立しております。

また，この会議は原則公開となっており，本日の傍聴者は2名です。

それでは，お手元へお配りしております協議会要項に従いまして進めてまいります。会議に先立ち，教育委員会を代表しまして，生涯学習部参事の三谷から御挨拶申し上げます。

【参 事】 教育委員会生涯学習部参事兼ライフパーク倉敷所長の三谷でございます。

本日は，令和2年度第2回倉敷科学センター協議会に御出席いただきまして，誠にありがとうございます。

この一年あまり，新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため，ライフパーク倉敷及び倉敷科学センターでは，徹底した感染症対策を取りながら運営しているところでございます。まだまだこれからもしくは，こういった対策をしっかりした上で来場されるお客様の安全安心のために頑張っていきたいと思っております。

本日の協議会は，令和3年7月から上映する全天周映面上映番組の選考について御協議いただきます。倉敷科学センター運営につきまして，委員の皆様には，忌憚の無い御意見・御指導をお願いいたしまして，開会の挨拶とさせていただきます。どうぞ，よろしくお願いたします。

(2) 委員紹介 (名簿順に自己紹介)

(3) 事務局紹介 (自己紹介)

2 諮問

【事務局】本日御協議いただく事業計画について、諮問させていただきます。よろしくお願いいたします。

(諮問)「令和3年7月期全天周映画上映作品の選定について」

(藤田館長から富岡会長へ諮問書を渡す)

3 報告・協議事項

【事務局】ここから議事進行を富岡会長さんをお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(ここから富岡会長が議事を進行)

(1) 議事録署名人の選任

【会 長】それでは、先ほどいただいた諮問内容について議事を進めていきたいと思えます。まず、本日の議事録署名人2名を決めたいと思えます。いかがでしょうか。

【特に意見無し】

【会 長】自薦が無いようでしたら、私の方で指名させていただいてよろしいでしょうか。

【全員異議無し】

【会 長】それでは、山田委員さんと中原委員さんをお願いしたいと思えますが、よろしいでしょうか。

【全員異議無し】

【会 長】それでは、お二方、山田委員さんと中原委員さん、よろしくお願いいたします。

(2) 【報告1】「令和2年度事業報告について」

(3) 【報告2】「令和3年度事業計画について」

(4) 【報告3】「令和3年度夏休み企画展の選定について」

【会長】はい。それでは議事の方を始めさせていただきたいと思います。

まず「報告1」の「令和2年度事業報告について」と「報告2」の「令和3年度事業計画について」の2件について、事務局からの説明を求めます。

【事務局】「資料1-1」から「資料2-3」までを御覧いただきます。

本年度の事業については、年度途中ですので、2月末までです。「資料1-1」から「資料1-3」までの統計情報については後で御覧いただいて御質問があればお問合せください。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、年度初め2か月間を完全に休館しておりました。6月2日(火)よりプラネタリウム、翌週より科学展示室を再開しましたが、プラネタリウムについては10月3週目までは、従来160席定員のところを60席程度に制限して、前後左右間隔を開けて着席をするという方針でやってきたので、例年だと来場者が一番多い7、8月の夏休み期間中もかなり入場をおさえた形での運営となりました。10月の後半から現在までは160席満席で座っていただくようにしましたが、今度は閑散期となり、満席になるほどの来場はありませんでした。

科学展示室や各種講座も含め、全体的には5万5千人の利用者数に止まり、例年に比べれば10万人から12万人程度も少ない数字となりました。

続いて「資料2-2」を御覧ください。

夏休み企画展については「科学ニンジャ学校」を前々回の令和元年度第2回の協議会で選定していただきました。今年度の夏休みに行く予定でしたが、感染症対策の見通しがまだまだ厳しく、実施は難しいと判断したため、企画展については実施を見送りました。

項番5の講座・イベント・普及事業ですが、夏休み前までは全ての講座を中止しましたし、実施した講座も会場となる実験実習室の各テーブルに2人、全部で12人という制限をかけました。通常なら1テーブル3~4人、全体で18ないし24人の講座ということで予定が組んでありましたが、現在もしぼった定員での開催を続けています。

(2) 特別企画は、ライフパーク全館を使うイベントですが、これらも全て中止しました。

「資料2-3」を御覧ください。

(3) 公開教室の「天体観望会」や「天文台公開」については、これまで自由参加だったものを完全予約制にして、定員を1回につき40名という形で10月後半から再開しました。再開にあたって、目が接触する望遠鏡の接眼レンズの消毒が課題になり、試行錯誤の結果、紙コップで作った接眼レンズカバーを参加者各自にお渡しして、参加者同士が直接レンズに接触しないように工夫しました。なお、科学センターには「天文台公開」と「天体観望会」という2種類の公開教室があって、「天体観望会」の方は、屋上のドームの望遠鏡に加えて、持ち運びできる望遠鏡を数台出しているいろいろな星空に焦点を当てて3、4組が同時に見られるようにしていました。しかし、夜間で照明の無い屋上広場で密になると運営が難しいということで、ドームの中だけで行う「天文台公開」という形に集約しました。そのため「天体観望会」は、実施回数ゼロとなっています。また「天文台公開」についても、悪天候での中

止や屋上の排水工事等で2か月ほど中断され、実際は3回しか実施できていません。今月、年度内にもう1回予定されているのを含めても4回の実施となります。

最後に項番6の真備天体観測施設、通称「たけのこ天文台」は、真備図書館の3階にあり、真備図書館が平成30年の豪雨災害で被災して利用できなくなったことから、天文台も休館していました。図書館が今年の1月末に再開するのに合わせて、天文台も望遠鏡等の機器点検を進めまして、図書館再開後の2月6日（土）から観望会を再開しており、これまでに3回実施しました。こちらも完全予約制で、事前予約された方を30分おきに順番に案内して、運営しています。

続いて「資料3-1」を御覧ください。

令和3年度の事業計画については、本年度は実績のなかった内容もあるのですが、基本的に例年どおり全ての事業を網羅して挙げています。予算については、まだ議決前ですので、総額を事業ごとの予算見込みでしか挙げていません。

科学センターの場合、「宇宙劇場運営事業」、「展示室運営事業」、「講座・イベント・普及事業」の3事業があり、それぞれ資料のと通りの予定で計画してありまして、この中で講座・イベントについては、先ほど実績でも申しましたが、現在も定員を縮小運営しているため、参加者数を縮小の見込みで数字を挙げています。

事業報告・事業計画については、以上です。

【会 長】「令和2年度の事業報告」及び「令和3年度の事業計画」について、何か御意見・御質問がございますか。

【特に意見無し】

【会 長】無いようなので、私から。

大変心が痛む数字というか、私も8か年、長い年月協議会に参加させていただいていますが、これほどの落ち込みがあった年は、記憶に無いです。新型コロナウイルス禍に伴う対応と安全の確保に御苦労なされたということは、よく分かりました。また、次年度もワクチンの流通や安全性等、まだまだ不透明な部分はありますが、計画の方でもそういった配慮があるように感じます。

それから、「報告3」の夏休みの企画展「科学ニンジャ学校」については、ここで伺ってもいいでしょうか。これについては、私が以前質問した時も、消毒等の対策は十分配慮できるというお話でしたが、間違いないでしょうか。

【事務局】はい、そうです。

「科学ニンジャ学校」については、前回8月の第1回協議会でも、今年度は実施できないので、来年度以降にスライドして実施したいと内々に御承認いただいております、本日、正式に御承認いただきたいところなのですが、内容としてはその後の感染症対策の実施状況等を踏まえ、基本的に一年前に御承認いただいていた案で、十分に感染症対策を実施しながらできる可能性が高いということで、特に提案は変えておりません。具体的に実施するときには、特別展示室が閉じたエリアなので、密にならないように入場制限をしつつ、途中スタッフによる消毒等をして、感染症対策に十分配慮しながら運営しようと考えておりますので、よろしく御理解願います。

【会 長】ありがとうございます。安全確保も考慮した上での選定で、継続した御提案ということで理解いたしました。

他にいかがでしょうか。

【特に意見無し】

【会 長】それでは御意見・御質問は出尽くしたということで、「報告1」から「報告3」については認められたこととします。

【全員異議無し】

【会 長】次に、『協議1』の令和3年7月期全天周映画上映作品の選定について協議するため、会場の移動をお願いします。本日上映していただくのは、『南極大陸 未知の世界へ』と『ボイジャー 終わりなき旅』の2本です。10分後に上映を予定しています。

【事務局】事務局の方で御案内いたします。

(プラネタリウムに移動)

ープラネタリウムで全天周映画候補作品試写を鑑賞ー

(上映終了後、実験実習室に移動)

(5) 【協議1】令和3年7月期全天周映画上映作品の選定について

【会 長】それでは、全天周映画上映作品について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】まずは、長時間にわたり映画を御覧いただきありがとうございました。

資料については、「資料4」、「資料5」及び映画のチラシを御覧ください。

映画については、年間3本、7月、11月、3月に新作を投入していて、今回は、今年の7月から上映をする作品として、2本の候補作品を先ほど御覧いただきました。

「資料4-2」の上半分に科学センター職員対象の試写のランキングを示しています。上位2作品を御覧いただいた形です。表の右側の星印の位置は、職員の評価から分析しまして、作品が子どもファミリー向けの作品か大人・科学性の高い作品か、という分類になります。今回は夏休みから始まる作品の選定にも関わらず、わりと大人向けの作品が上位になってしまいました。下半分は、最近上映した全天周映画の作品の一覧です。

続きまして、「資料5」の「全天周映画選考のガイドライン」を御覧ください。

矢印が並んだ表になります。現在は表で言うと、作品ABCで今週末までの上映になります。来週から次のBCDの3作品を上映するようになります。7月からはCDEつまり前回御覧いただいた『HAYABUSA 2-REBORN-』と『ごん』の2作品との組み合わせということも考慮頂きたいと思います。

【会 長】それでは、委員の皆様にご協議いただきたいと思います。どなたか、上映作品について、御意見や御質問など、ございますか。

【委員】どちらも素晴らしい作品で良かったと思います。

若干『南極大陸 未知の世界へ』の方が、お子さんには分かりやすいかと、思います。

一方で、『ボイジャー 終わりなき旅』の方は、宇宙物理学関係の秘密を明かしたり、新しい知見が得られたりした大きいプロジェクトにも関わらず、それについて難しくならずによく説明して、思い切って省くところは省いて映像の美しさを示しているので、感動しました。

博物館だと、より難しい内容になりがちな部分を上手にまとめていて、映像作品として、実際にその映像が撮れたかの如く、五藤光学の技術で示しており、まさに全天周映画の装置とリンクできていると、感心しました。

【会長】はい、ありがとうございました。他に何かございますか。

【委員】両方とも、短い時間ながら見応えのある作品でした。

自身が生物の教員のため、どうしても『南極大陸 未知の世界へ』の方が、しっくりくるように感じて、より感動しました。ネット上で見るような画像が高画質で見られて、感動した状況です。

甲乙つけがたいのですが、全体的に見たときに「HAYABUSA 2-REBORN」とセットになると考えると、バランス的には『南極大陸 未知の世界へ』の方がお薦めになると思います。

【会長】生物的な視点だと、より『南極大陸 未知の世界へ』の方が相応しいようですが、地球の公転と地軸の傾きのせいで、ずっと冬に太陽が沈んだままであったり、氷床が溶けて地球の90%の陸氷が南極に集まっていたりするなど、地学分野に通ずるところもあったので、そういうところでは、全体的に理科全般に触れている部分がありました。

他に、お子さんに見せる視点ではいかがでしょうか。

【副会長】どちらかと言えば、『南極大陸 未知の世界へ』の方が良かったです。

他の番組との組み合わせでも「南極」の方が向いていると思いますし、南極大陸の生物の様子など、知らなかった内容が多く興味深かったです。また夏場からの上映ということで、涼しい映像は好まれると思いました。

【会長】余談ですが、岡山理科大学には、瀬戸内海に入ったザトウクジラが六口島であがって網にかかって死んだ際の骨格標本があります。生後半年ほどの子どもですが、体長が7mもあるんです。上映の際には、一部の骨でも持ってきて並べると迫力があると思います。

他にいかがでしょうか。

【特に意見無し】

【会長】それでは、議事を急いだ方が、今の時世に合うので、これまでの議論を踏まえ、そろそろ結論を出したいと思います。令和3年7月期からの上映番組を決めたいと思いますので、賛成意見の方へ挙手をお願いします。

最初に『南極大陸 未知の世界へ』次に『ボイジャー 終わりなき旅』について、伺います。2つのうち1つを選択して、挙手してください。

まず『南極大陸 未知の世界へ』が良いと思われる方、挙手をお願いいたします。

【全員挙手】

【会 長】全員挙手でしたので、『ボイジャー 終わりなき旅』については伺いません。

【委 員】ちょっといいですか。

どちらの作品もすごくよかったと思います。

『ボイジャー 終わりなき旅』も、すごく良かったんですが、皆さんの意見が『南極大陸 未知の世界へ』で優勢だったので、私もそちらに賛成しました。けれども、正直どちらか選ぶのはとても難しかったです。

『ボイジャー 終わりなき旅』も、また検討したらよい作品だと思ったので、これで却下になると思うと、一言言いたくなりました。

【会 長】過去に『HORIZON 宇宙の果てにあるもの』は、一度落選したものの、そのときは次点で協議会委員の支持が多く、次の協議会で返り咲き当選というケースがありました。今の『ボイジャー 終わりなき旅』についての御意見は同感な部分があるので、また検討いただいて、たくさんある上映候補作品の一つに加えていただきたいと思います。

【委 員】どちらも内容的には良かったのですが、『南極大陸 未知の世界へ』は、見る席によって一部、上の席からは見づらい部分がありました。『ボイジャー 終わりなき旅』は、その点は大丈夫でした。『南極大陸 未知の世界へ』は、最初や終わりのあたりで、画面の上部を見たとき目がちらついて見にくい感じがあったことをお伝えしておきたいです。

【会 長】ありがとうございます。

他に御意見等無いようでしたら、結論としては、『南極大陸 未知の世界へ』の方を上映作品として選定するというところでよろしいでしょうか。

【全員異議無し】

【会 長】ただ、『ボイジャー 終わりなき旅』も捨てがたいので、今後も検討していただきたいという意見を申し添えさせていただきます。

(6) 【その他】委員の改選について

【会 長】最後にその他の項目で何かありますか。

【事務局】委員の改選についてお知らせいたします。

この協議会の委員の任期は7月1日から2年間で、今年の6月30日で満了になるため、全員改選となります。改選にあたっては、原則として連続4期8年の任期を終わられた方以外は、引き続き次の任期も委員の委嘱をお願いしたいと思っております。また時期が来ましたら、御案内いたしますので、よろしく願いいたします。

なお、充て職でPTAや学校関係の代表の方で、4月から6月末までの間に役職等が交代された場合には、7月の改選前に一度充て職の交代として委員の委嘱をし直す場合もありますので、御承知おきください。

【会 長】ありがとうございます。他に何かありますか。

【特に意見無し】

【会 長】無いようでしたら、最後に諮問についての答申内容の確認です。

「令和3年7月期全天周映画上映作品の選定について」は、先ほどの結論どおり、『南極大陸 未知の世界へ』を上映作品として選定するという内容で答申書を作成いたします。

【全員異議無し】

【会 長】ありがとうございました。

以上で、本日の協議事項・報告事項のすべてを終了しましたので、進行を事務局にお返しいたします。

【事務局】長時間に渡り、熱心な御協議をいただき、ありがとうございました。

以上で、令和2年度第2回倉敷科学センター協議会を閉会いたします。

令和3年3月4日

会 長 富岡 直人



議事録署名人 山田 裕史



議事録署名人 中原 貴子

